

子どもが迷惑している事例は 情報の把握に努めている



阿部 幸一 議員
(新 生 会)

問 千葉県野田市の市立小学校に通う児童が死亡した事件で、市教育委員会は児童相談所に相談せず、本人がSOSを発したアンケートのコピーを父親に渡していた。威圧的な態度に恐怖を感じ、追い込まれるあまり、子どもを守るという使命とかけ離れた判断に教育現場で問題を抱え込むことの危うさがあらわになった。精神的に追い詰められた残念な出来事である。町の教育委員会の見解はどうか。また、夫婦間でトラブルのある家庭で子どもが迷惑している事例があるか。ある程度調べることも必要と思うがどうか。

佐々木教育長 命は何にも代えがたい大切なもの

であり、今回の事件は、決してあってはならないことであると強く感じている。家庭内でのトラブルを抱えている子どもについても、学校、健康子ども課や児童相談所と情報を共有している。町や学校で実施しているアンケート等を活用しながら情報の把握に努めている。

特産品開発の研究は

業者と連携し取り組む

問 岩手経済研究所は、県内みそ、しょうゆ製造業の成長に関する特別調査を行った。全国でも大豆関連商品の購入額が多い本県だが、県内業者の出荷は多いほうではない。需要がある地元市場はさらに開拓の余地があり、志向に合わせた商品展開で一層の成長が期待できると指摘している。水産商工課、農林課など

で民間の業者の方々と交流をして、町の特産品開発などの研究をさせてはどうか。

佐藤町長 本町の特色を生かした特産品づくりは必要であると考えており、今後とも各種制度を最大限有効に活用し、生産者、加工業者および販売業者等と連携を取りながら、特産品の開発支援に取り組んでいく。

30年度の公営住宅管理費は

2300万円の見込み

問 災害公営住宅に何%くらい入居しているか。また、30年度の公営住宅

の管理費はどのくらいか。

町長 1月31日現在の入

居率について、県営が86・1%、町営が91・4%となっている。また、30年度の公営住宅の管理費は、2300万円を見込んでいく。



入居率90.5%の船越災害公営住宅